

【 わっか 】



【 ゴム 】



【 お風呂マット 】



### 3. こどもの姿から考える週案（3・4・5 歳児）

#### ○先週のこどもの姿を振り返ってみましょう。

こどもたちは「何を、どのように楽しんでいましたか」、「保育者や友達とはどのようにかかわっていましたか」、**こどもの姿から**来週に向けて「**次はどのようなことを経験してほしいのか**」を考えてみましょう（ねらい）。その際、資質・能力（「知識及び技能の基礎」、「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」）（幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領）にも目を向けてみましょう。

○「予想されるこどもの姿」には、同じ遊びの中でも、こどもたちが「経験するであろう」ことを**複数の視点**（領域）から予想してみましょう。

○「予想されるこどもの姿」に合わせて、「環境構成」や「保育者の援助」を**具体的に（実際の行為内容）**考えてみましょう。

○この章では、3 歳児、4 歳児、5 歳児それぞれ 6 月と 11 月の週案の例を提示しています。

あくまでも**書き方の例**として参考にしてください。園庭での遊びが中心となっていますが、遊具や道具などの環境を工夫することで公園や室内でも可能な遊びもあります。園の実情に合わせて、工夫をしてみてください。

【資質・能力】  
学びに向かう力、人間性等

- <こどもの実態>
- ・好きな遊びが見つかり繰り返し楽しむ姿がある。
  - ・友達の遊びを見て「やってみたい」と真似したり、同じ場で遊ぶ姿も見られる。
  - ・遊びや生活の中で経験したことをイメージし、再現して遊ぶ姿が見られる。

- <ねらい>
- ・好きな遊びを見つけて自分なりに挑戦したり、繰り返し楽しんだりする。
  - ・友達や保育者に親しみを感じ、同じ場や同じ遊びで遊ぶことを楽しむ。

< 園 庭 >

○予想されるこどもの姿 ★環境構成 ●保育者の援助

【フープ】

- 保育者や友達とフープに入り、電車ごっこを楽しむ。
- 地面に並べたり、フープからフープにとぶことを楽しむ。
- フープを転がしたり回したりして遊ぶ。
- 一緒に遊びながら同じフープでもいろいろな遊び方や動きが経験できるようにする。
- 電車ごっこは、遊びを見ながら駅を作ったり線路を描いたりするなど、イメージを膨らむようにする。

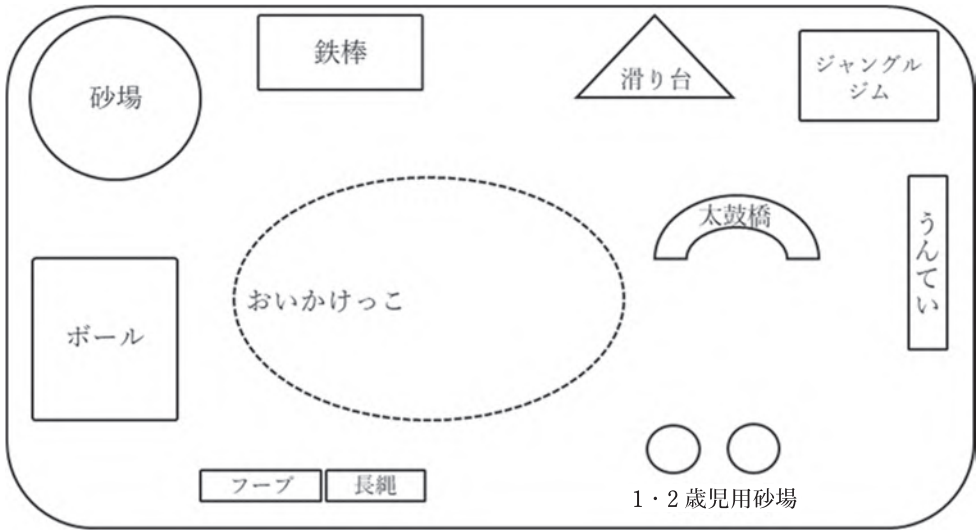
【長縄】

- 縄をとんでみたり、くぐったり、またいだり、回したりする。
- 年長児の姿を見て興味をもったことから「やってみたい」という思いを尊重し、遊べるようにする。

【おいかけっこ】

- 友達や保育者のそばで走ったり、追いかけたり、逃げたり、タッチしたりする。
- 追いかけっこのイメージや楽しんでいることは一人ひとり違うが、同じ場で遊ぶことを楽しんでいる。
- 保育者も一緒に参加し、楽しみを共有しながら体を動かしていけるようにする。

保育者が一緒に遊びの楽しさを共有  
することが遊びの継続につながる



【固定遊具】（登る・握る・ぶら下がる・バランスをとる・滑るなど）

- ジャングルジム、うんてい、滑り台、太鼓橋を使って自分なりに挑戦しようとする。
- 登ったり、ぶら下がったり、握ったり、滑ったりすることを楽しむ。
- やってみたい思いを受けとめて、挑戦している姿をしっかりと見守る。
- できたときには、その思いに共感し、やってみることへのおもしろさを感じられるようにする。
- ジャングルジムや鉄棒、うんていなど、やってみたい遊具で楽しみながら遊ぶ中で、握る動きが経験できるようにする。

自分なりに挑戦しようとする姿を認めて  
いくことが自信につながる



【ボール】

- ボールを投げたり、蹴ったり、転がしたりして遊ぶ。
- ★ 思っている方向と違うところへ飛んでいくことも多いため、十分なスペースが取れるように遊ぶ場所を配慮する。
- 一緒に遊びながら、楽しんでいることに共感する。

他の遊びの様子も見ながら、場所、スペース  
の広さ、こどもの動線を考慮にいれる



挑戦したいことを  
自分で決めて

【資質・能力】  
学びに向かう力、人間性等、  
思考力、判断力、表現力等の基礎

<こどもの実態>  
・友達や他のクラスの友達が遊んでいる遊びに興味をもち、「やってみよう」と挑戦する姿がある。  
・友達と一緒に好きな遊びをすることが増え、その中で自分の言葉で思いや意見を伝えるが、食い違いが起こり、ぶつかり合うこともある。

< 園 庭 > ○予想されるこどもの姿 ★環境構成 ●保育者の援助

【砂遊び】（すくう・持つ・掘る・運ぶ）

- シャベルやスコップを使って、山を作ったり、穴を掘ったりする。
- 型抜きや他の道具を使って料理を作り、見立て遊びを楽しむ。
- 砂と水を混ぜて感触を楽しんだり、食べ物に見立てたりする。

★ 出したり、片づけたりしやすいように、シャベル、スコップを整理してカゴに用意する。

★ 砂や水を入れるための様々な容器を用意し、机と椅子を使っておままごとができるようにしておく。

● 一緒に遊びながら、楽しんでいること、感じていることに共感する。

【構成遊び】

- ビールケースやマットを使って家や車を作り、友達や保育者と一緒に遊ぶことを楽しむ。
- 家から出かけたり、戻ってきたりしてお出かけごっこを楽しむ。

● こどもの人数や動線を考え、場を再構成したり、こどもの興味に合わせて必要な物を用意する。

● こどもの思いがぶつかりあっているときは、互いの気持ちを受けとめ、どうすれば良いか一緒に考えたり、提案したりしていく。

イメージの実現を支える



【おにごっこ】（しっぽとり・オオカミさん今何時）

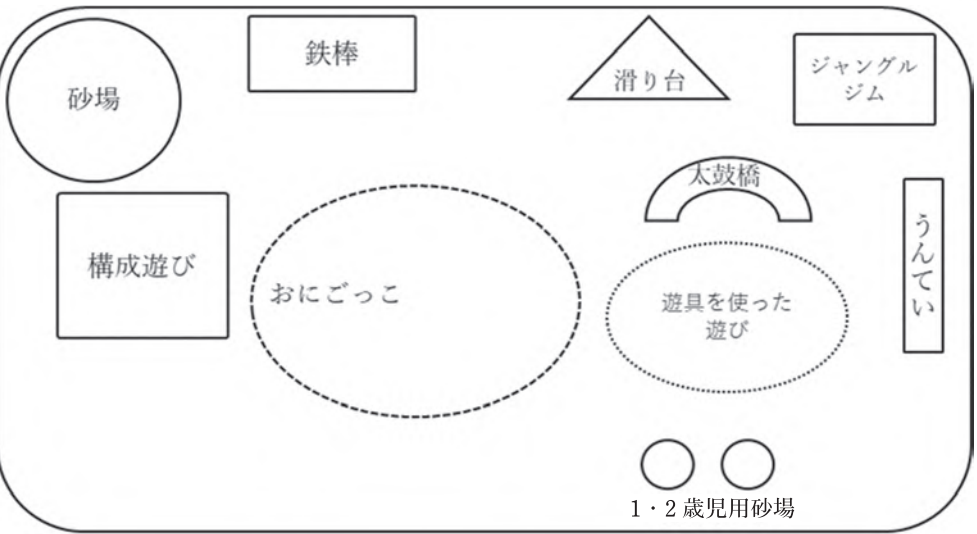
- 保育者を追いかけたり、逃げたりしながら走ることを楽しむ。
- 遊びのルールにとらわれず、保育者や友達と走ることを楽しむ。

★ オオカミのお面やしっぽを取りやすい場所に置いておく。

● 一緒に体を動かして遊び、楽しさを感じられるようにする。

● 考えや思いがぶつかり合う時には、それぞれの気持ちに寄り添いながら互いの気持ちを代弁し、友達の思いに気づいていけるようにする。

「走る楽しさ」を十分に味わうことが  
その後の遊びへの意欲に



<ねらい>  
・友達を楽しんでいる遊びに興味をもち、遊びに参加したり、自分なりにやってみようとする。  
・友達と一緒に遊ぶ中で自分の思いを伝えようとする。  
・自分の思ったことを言葉にしなが、友達との関わりを楽しむ。

【固定遊具】（登る・降りる・掴む・支える・立つ・ぶら下がる・わたる・逆さになる）

○ ジャングルジムを上下左右に好きなところへ登り降りしたり、棒をくぐりながら横方向に移動したりする。

○ 友達と一緒にぶら下がることを楽しんだり、自分の力で進むことを挑戦しようとする（うんてい）。

○ タイヤの上に立ったり、上からジャンプしたりすることを楽しむ。

○ 鉄棒では、友達の姿を見て、前回り、足抜き回り、豚の丸焼き、コウモリなどに挑戦しようとする。

★ 怪我につながらないように、マットの場所や、物を身に付けたまま遊んでいないか確認する。

● 必ずそばで見守り、やりたいという気持ちや意欲を大切にし、取り組んでいることや頑張りを十分に認め、できたときは喜びを共有する。



自分の体の使い方を  
試行錯誤する



【遊具を使った遊び】

- 保育者とボールを投げあったり、蹴ったりすることを楽しむ。
- 大縄とびで蛇ジャンプをすることを楽しむ。
- 年長児の姿をみて、ぽっくりで歩くことに挑戦しようとする。
- 自分なりに試行錯誤しながら、フープやボールを転がして遊ぶことを楽しむ。

★ 他の遊びの場所を確認しながら、遊ぶためのスペースを十分に確保する。

● 一緒に遊ぶ中で、楽しみながら遊具の使い方を知らせていく。

● こどもが考えた動きを友達にも知らせ、一緒に楽しんだり、保育者からも遊び方を提案したりする。

<こどもの実態>

- ・新しくなった部屋の環境に対し「すてきだね」「違う保育園みたい」と興味をもって遊ぶ姿がある。
- ・ホールや園庭など好きな場所を見つけて「遊びたい」と自発的に言ってくるこどもが多い。

< 園 庭 >

○予想されるこどもの姿 ★環境構成 ●保育者の援助

【お家ごっこ】

- 瓶ケースを並べて、家を作っておままごとを楽しむ。
- イメージしている家を作るために、様々な物を使って作ろうとする。
- 猫になりきって家の中を、くぐったり、四つ這いで遊んだりする。
- こどもたちの発想を受けとめ、「こうしてみたい」と思いが出たときに提案したり、より楽しめるようにする。
- 楽しい気持ちを共感し、一緒になりきって遊ぶ。



保育者や友達とイメージを共有することで遊びへの意欲が高まる

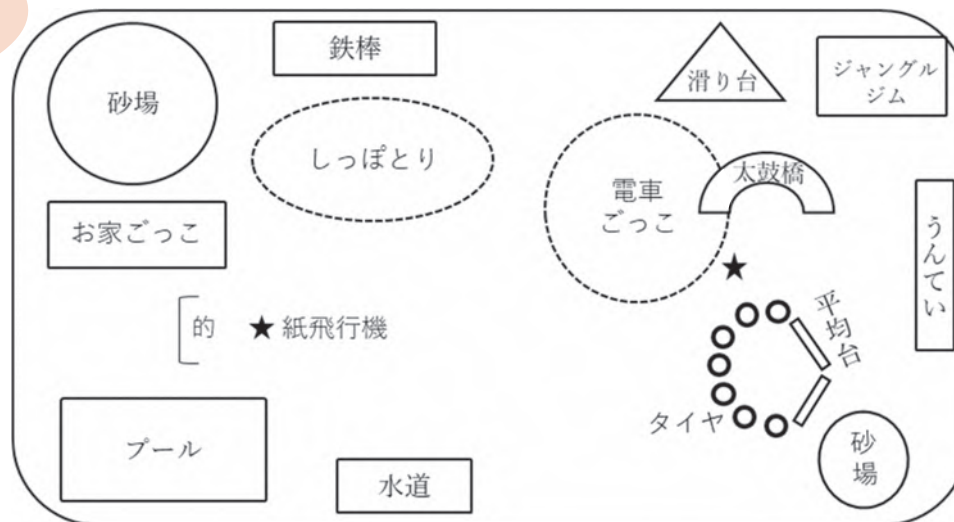
【どろ遊び】

- やわらかくなった土を触り、感触を楽しんだり、とんではねる泥や水の音を楽しむ。
- 泥の感触や色などの質問を通して、こどもが水と泥の違いや楽しさに気づけるようにする。

【プール遊び】

- 水を掛け合い、冷たさを楽しんだり、感触を楽しむ。
- 水に顔をつけたり、潜ったりして水に触れて楽しむ。
- ワニ泳ぎがバタ足になるなど、好きな動きを楽しむ。
- 一緒に水のおもしろさを感じて楽しむ。
- 水が掛かるのが苦手なこどもには「大丈夫だよ」と安心できる言葉をかけ、無理なときは休んだり、一緒に静かに顔をつけたりして少しずつ慣れるようにしていく。
- こどものしていることを同じように行いながら、一緒に楽しみ、できた喜びを共感する。

それぞれの楽しみ方を保障できる環境を用意する



【資質・能力】

学びに向かう力、人間性等  
思考力、判断力、表現力等の基礎

<ねらい>

- ・紙飛行機をとばすことに興味をもち、全身を使って投げようとする。
- ・四つ這いやくぐる動きを使って移動することを楽しむ。

【しっぽとり】

- 保育者のしっぽを追いかけたり、こどもたち同士で追いかけることを楽しむ。
- 年長組のこどもたちとも一緒に遊び、自分の全力の速さで走ろうとする。



【紙飛行機】

- 腕をふりかぶって投げ、遠くにとばそうとする。
- より遠くにとばそうと足を踏み込んだり、体を反らしたりして自分で考えてとばすことを楽しむ。
- ★ どこに投げるかわかりやすくするため、目標や的を用意する。
- 遠くにとばせたときは一緒に喜んだり、「どんな風にとばしたの?」と聞いたりして周りの子にも気づけるような言葉掛けをする。

どうしたら遠くにとばすことができるのか、体の使い方を試行錯誤する

【タイヤ・平均台歩き】

- タイヤや平均台でバランスをとりながら歩く。
- 間をあけたり、保育者が逆に進んでみたりして一本の道でも様々な動き（すれちがう、遠くにとぶ）ができるようにする。



タイヤ、丸太、お風呂マットなどを使って、自分たちで場所をつくる

【うんてい】

- 何度も挑戦し、繰り返し遊ぶ。
- 挑戦している姿を見てほしいと思い、保育者に声をかける。
- できたらハイトッチなどを行い、意欲をもつてうんていを楽しめるようにする。

【電車ごっこ】

- 自分なりの電車をイメージして運転することを楽しむ。
- 速いスピードで何回も周回することもあれば、一回ごとにイメージを変えて楽しんでいる子もいる。
- ★ 事前に線路を引き、駅からすぐに電車ごっこができるようにする。



【資質・能力】  
学びに向かう力、人間性等  
知識及び技能の基礎  
思考力、判断力、表現力等の基礎

- <こどもの実態>
- ・大縄や鉄棒など「もっととびたい」「もっと回れるようになりたい」と目標をもって遊んでいる姿が見られる。
  - ・大人数の水鬼やドッジボールもルールの中でやりとりを楽しみながら遊んでいる。
  - ・作りたいものを友達に教え合いながら作ることを楽しむ姿がある。
  - ・新しいものも折り紙の本を見て自分で作ろうとする姿が見られる。

< 園 庭 >                      ○予想されるこどもの姿   ★環境構成   ●保育者の援助

【大縄】

- 「回しているところに入るね」「三人でとぶ」など、自分がやりたいとび方を言葉にしたりしながら楽しむ。
- “ゆうびんやさん”の歌に合わせてとぶことを楽しむ。
- 「何回とびたいかな？」と目標をもてる質問を行い、とべたときの喜びを共有する。
- とぶ子に合わせて、ゆっくり縄を動かしたり、新しいとび方を提案したりする。
- 保育者の歌遊びに合わせて楽しさを感じられるようにする。



【おにごっこ】（走る・追いかける）

- 「タッチしたらここに入るんだよ」「つかまったら鬼になるよ」と自分たちでルールを作って楽しむ。
- 遊びながら「次はつかまったらここに入るよ」など、ルールを考えて遊ぶ。
- 保育者も一緒に、こどもが考えたルールを楽しみ、気持ちを共有する。



こどもが考えたルールを  
尊重し、こども同士をつなぐ

【色水・泡作り】 \*テラス

- 石けんを削り、泡立て器で泡を立てることを楽しむ。
- 立てた泡に好きな色を混ぜて、色の変化を楽しむ。
- 「紫になったよ」「ぶどうジュースみたい」と作った色を見て、何かに見立てようとする。
- 「どうやったら作れるの？」と聞いてきたり、「うまく作れない」と困ったりする。
- ★ こどもたちが自分で考えて作れるよう、色水や用具の準備、作りやすい環境を整えていく。
- こどもたちの発見聞き逃さず、「何の色を混ぜたの？」と色の名前を聞いたり、「○と△を混ぜるとこんな色になるんだね」「これは何色かな？」など、こどもたちと一緒に考えたりして発見を大事にする。
- できない時には「○○ちゃん、今作ってたよ」とさりげなく伝え、こども同士で教え合えるよう促していく。

- <ねらい>
- ・保育者や友達とイメージを共有しながら様々な素材で好きなものを作ったり、作ったもので遊んだりすることを楽しむ。
  - ・保育者や友達と一緒にルールのある遊びの楽しさを感じたり、やってみたい遊びに挑戦したりする。
  - ・友達と作ったものになりきって遊んだり、やりとりを楽しんだりする。

【ドッジボール】（投げる・捕る）

- 相手をねらってボールを投げる。
- ボールが当たらないよう、避けたり、捕ろうとする。
- 当たってもすぐに気持ちを切り替えて遊びを楽しむ。
- ボールを捕る経験が増やせるよう、捕りやすいボールを投げる。
- さりげなく、ねらいやすい投げ方を伝えたりする。



相手を意識して「なげる」「よける」

【鉄棒】（ぶらさがる・つかむなど）

- 鉄棒にぶらさがったり、つかまって回ってみようとしたりする。
- 足をひっかけてぶらさがろうとする。
- 「見て見て」とできる姿を見せようとする。
- 友達の姿を見て、真似してみようとしたり、「どうやるの？」と聞いてきたりする。
- ★ 怪我の防止のために、鉄棒の下にシートを敷く。
- 見て欲しい思いを大切に、一人一人の姿を認め、良い姿を具体的に伝える。
- 「どうやって握るの？」「どこに力を入れてる？」など、具体的に聞きながら、やってみたい子にもさりげなく伝え、保育者も一緒に楽しむ。



友達の姿は「自分もやってみたい」という思いを引き出す



< こどもの実態 >

- ・自分の作りたいものやイメージしたものを作り、それで遊ぶ姿が見られる。
- ・紙飛行機では、どうしたら遠くへとぶのか考えたり、折り方や紙の素材などを工夫しながら取りくむ姿がある。
- ・遊びの中で自分の思いを相手に伝えようとする姿が少しずつ増えてきている。
- ・自分の思いや考えと違うことをしている友達に対して、“そうじゃないよ”“〇〇じゃだめだよ”など、自分の言葉で伝えようとする姿も多くなっている。

< 園庭 >

○予想されるこどもの姿 ★環境構成 ●保育者の援助

【縄とび】

(タイミングよく動く・縄の長さや形を調節する)(とぶ・踏み込む・走る・止まるなど)

- 大縄とびや縄とびを友達ととんだり一人でとんだりして楽しむ。
- ★ 自分で縄を出したりしまったりできるよう園庭側のテラスに準備しておく。

こどもの目にとまることが遊びの  
興味を引き出す



【引っ越し遊び】

- ルールを伝え合ったり、縄の形や大きさを調節したりして自分たちで変えて遊ぶ。
- こどもたちと一緒に楽しむ。
- こどもたちから出てきたルールや発想を受けとめ、遊びが広がるようにする。

【水遊び・プール遊び】(浮く・泳ぐなど)

- 水の感触や感覚を全身で味わいながら楽しむ。
- プール遊びに期待をもち、準備をしたり、約束事に気づき、意識してプール遊びを楽しむ。
- ★ 水を使って遊んだり、変化を楽しんだりできるよう、教材や素材などを準備する。
- プール遊びの期待を受けとめつつ、約束事に気づき、意識できるように丁寧に知らせていく。

保育者が一緒に遊びを楽しむことで  
遊びに興味をもつこどもが増える

< ねらい >

- ・自分のやりたいこと、作りたいことをイメージし、その準備や片づけも自ら行おうとする。
- ・自分の思いや考えを相手に言葉で伝えたり、相手の話も聞こうとする。

【資質・能力】

学びに向かう力、人間性等

思考力、判断力、表現力等の基礎

捕まえた生き物を図鑑で確認することで、  
「知る」ことの楽しさを感じるにつながら

【虫探し】

- 身近な生き物や好きな生き物を見つけて捕まえることを楽しむ。
- ★ 保育室内に虫(生き物)コーナーを設置し、図鑑で調べたり、こども同士で話(思ったこと、感じたこと)ができるように設定する。



相手を意識して「なげる」「よける」  
ことでより遊びの面白さを感じる



【ドッジボール】

- ボールを投げたり、ボールにあたらないようによけてみたりすることの面白さを感じながら、友達や保育者とドッジボールを楽しむ。
- 暑い日には、ホールを活用しながらこどもたちがボールを投げたり、ボールにあたらないように逃げたりする楽しさを味わえるように、保育者も一緒に楽しむことで継続していけるようにする。



雨の日や暑い日にはホール等を  
積極的に利用して遊びを実現  
狭いように感じても、こどもたちが  
場所に適応し、考えながら遊びを楽しむ

<こどもの実態>

- ・自分たちで準備や片付けをしたり、チームに分かれたりして声を掛け合いながら進め、楽しんでいる。
- ・縄とびが何回とべたか、目当てを決めてとぶことも楽しんでいるが、ホッピングにも挑戦する姿が見られる。
- ・ルールを守ることの面白さを感じているこどもも増え、その思いを言葉に出せるようになってきている。
- ・自分でイメージしたものを身近な教材を使い、立体的に作ることを楽しんでいる。

< 園 庭 >

○予想されるこどもの姿 ★環境構成 ●保育者の援助

【短縄】(用具を操作する・リズムよくとぶなど)

- 自分なりに目当てを決めてとぶことを楽しむ。
- 友達と一緒にとんだり、数を競いあったりすることを楽しむ。
- できるようになるとまた目当てを考え、それに挑戦しようとする。
- 一緒に楽しんだり、その姿を見たりして、こどもたちの意欲を認める。



保育者が一緒に遊びを楽しむことで遊びに興味をもつこどもが増える

【ホッピング】(バランスをとりながらとぶ)

- 自分でとぶ回数を決め、とぶことを楽しむ。
- 友達のとぶ姿を見て、自分もやってみようとする。
- こどもたちの意欲を大切にしながら見守り、できたときは一緒に喜びを共有する。

年長児が楽しむ姿が年少児の「やってみたい」という思いを引き出す



<ねらい>

- ・好きな遊びや体を動かして遊ぶことを楽しんだり、目当てをもって取組んだりする。
- ・生活や遊びの中で、自分の思いや考えを伝えたり、友達の考えにも耳を傾けたりして意見を調整しながら遊ぶことを楽しむ。
- ・身近にある素材や教材を使い、考えたり工夫したりして遊ぶことを楽しむ。

【資質・能力】

学びに向かう力、人間性等

知識及び技能の基礎

思考力、判断力、表現力等の基礎

【リレー】(思いきり走る・友達と競いあって走る・バトンを渡す・受けとるなど)

- 友達と競いあって走ることを楽しむ。
- 友達や小さいクラスの子たちと一緒に走ったり、バトンを渡す、受けとったりすることを楽しむ。
- 楽しんで走っている姿を認めながら、走る楽しさを共有する。



こどもたちで線を引き、リレーをする場所をつくる



4 歳児でも楽しんだ紙飛行機  
楽しかった記憶を思い出して  
こどもたちから遊びが始まった

【飛行機をとばして遊ぶ】

(投げる・友達ととぶ距離を比べ、とび方を言葉で伝える)

- 自分たちで作った飛行機をとばして楽しむ。
- 飛行機のとび方を見て、言葉で伝え合ったり、どうすれば遠くまでとぶか考えたりして遊びを広げる。
- 一緒に遊ぶ中で、こどもたちが楽しんでいることは何かを感じとり、教材を準備したり、一緒にどうすれば良いか考えたりしていく。

4 歳児の時とは異なる楽しみ方で

